



平成28年度 埼玉県学力・学習状況調査グランドデザイン



背景1
学力向上の必要性

調査の目的
本県の児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。

背景2
これまでの調査の課題

指導改善の方向
Ⅰ 学力の伸びの状況 → P24~27
Ⅱ 指導改善の方策 → P31~93

学力調査の結果概要
6学年を通じた各教科におけるよさや課題

調査の実施
調査日…平成28年4月14日(木)
調査対象…小学校第4学年~中学校第3学年
調査内容…小学校第4学年~第6学年:国語、算数、質問紙
中学校第1学年:国語、数学、質問紙
中学校第2・3学年:国語、数学、英語、質問紙
市町村教育委員会、各小・中学校:質問紙

質問紙調査の結果概要
6年間を通して見えてきた子供たちの意欲や態度の変容

活用の方向
Ⅲ 質問紙調査の分析 → P96~105
Ⅳ 分析支援プログラム等の活用

各学校における校内研修 学力向上の取組

全ての学年・教科へ

復習シートの活用
○定着を図り、より伸ばすために
○繰り返し学習による課題の克服
県ホームページへ

学力
知識・技能
思考力・判断力
表現力

調査結果の詳細な分析
県教育委員会 各市町村、各小・中学校

主体的に学習に取り組む意欲・態度

新たに見えてくる児童生徒の姿
学習意欲と生活習慣の関係
学習態度と学力の関係など

調査結果を活用し「さらに伸ばす」「課題を克服」
V 学校での取組例 → P108~117

各家庭へ
学級懇談会、学校便り など



一人一人が自分の成長を実感する!

一人一人の学力を確実に伸ばす教育の推進

○一人一人に目を向けたアドバンスド事業
○埼玉県学力・学習状況調査のデータ活用事業

全国学力・学習状況調査の成果(学習内容の定着)

学校が変わります!
一クラス・学年・学校を超えたネットワーク

学校全体での情報共有

調査データの詳細な分析

地域・保護者との積極的な連携

共助

自校のよさを自覚し、よりよい学校文化を創り上げていく!

小・中学校の積極的な連携

個人結果票

児童生徒一人一人に対して

- ・教科に関する調査の結果
- ・質問紙調査の結果
- ・学習に関するアドバイス

成長の記録 (新座市立新堀小学校・毛呂山町立光山小学校)

新堀小学校 4年生 算数カード

光山 太郎 5年1組 入学年度 平成23年度

